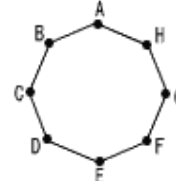


④ データの活用

16 さいころ (確率) 2

月 日 ()

以下の問題では、さいころはどの目が出ることも同様に確からしいものとします。

<p>1 都立八王子東高校 (R4年) ★</p>	<p>4 城北高校 (R4年) ★</p>
<p>1から6までの目が出る大小1つずつのさいころを同時に1回投げる。大きいさいころの出た目の数を十の位の数、小さいさいころの出た目の数を一の位の数とする2桁の整数を11で割った余りが10である確率を求めよ。</p>	<p>6つの面に1,1,1,2,3,3の目が書かれたサイコロを2回投げるとき、出た目の和が4になる確率を求めよ。</p>
<p>2 東大寺学園高校 (R4年) ★★</p>	<p>5 慶應義塾高校 (R4年) ★★★</p>
<p>大小2個のサイコロを投げて出た目の数をそれぞれA,Bとすると、$A+B$と6の最大公約数が1となる確率を求めよ。</p>	<p>1つのさいころを3回投げて、1回目,2回目,3回目に 出た目の数をそれぞれa,b,cとすると、 $\frac{b+c}{2^a} = \frac{1}{4}$となる確率は[]である。</p>
<p>3 愛光高校 (R4年) ★★★</p>	<p>6 市川高校 (R4年) ★★★</p>
<p>1つのさいころを3回投げて、出た目の数を順に十の位、一の位、小数第1位として小数をつくる。その小数の小数第1位を四捨五入した整数をAとすると、 (1) $A=45$となる確率を求めよ。 (2) $A \geq 45$となる確率を求めよ。</p>	<p>右の図のように、正八角形 ABCDEFGHがあり、動点Pは最初、頂点Aにいる。さいころを振って、出た目の数の分だけPは正八角形の頂点を順に反時計回りに進む。ただし、頂点Dより先の頂点に進む目が出たとき、PはDで必ず止まるものとする。例えば、さいころを2回振って出た目の数が順に6,2のとき、PはA→D→Fと動き、出た目の数が順に2,6のとき、PはA→C→Dと動く。</p>  <p>(1) さいころを2回振ったとき、PがAにいる確率を求めよ。 (2) さいころを3回振ったとき、PがAにいる確率を求めよ。</p>